

# センター試験 倫理 (本試験) 分析

## 全体概況

試験時間 60分

大問数・解答数	大問数：5題	解答数：38問
難易度の変化（対昨年比）	○ 難化    ○ やや難化	● ほぼ同じ    ○ やや易化    ○ 易化
問題の分量（対昨年比）	○ 多い	● ほぼ同じ    ○ 少ない
出題分野の変化	○ あり	● なし
出題形式の変化	○ あり	● なし
新傾向の問題	○ あり	● なし
<p>総評 過去数年の傾向と比べると若干の変化あり。大問数に変化は見られなかったが、設問数とマーク数が現代社会分野で1つずつ増えた。難易度はほぼ変化なし。各大問傾向は例年と同じで、順に青年期、源流思想、日本の思想、西洋近代、現代社会の分野になっている。図表問題は昨年の2つから1つに減った。内容一致問題の難易度は例年と変わらない。</p>		

## 大問別分析

大問	出題分野・テーマ	配点	コメント
第1問	パーソナリティと青年期の心理	8点	問いが3つあり、1つが図表問題である点は昨年度と同じである。問3が細かい知識を問うのでやや難しい。
第2問	源流思想	24点	教科書の内容を全体的に、かつ正確に理解しておけば解ける問題である。大雑把なイメージで把握するだけだと、少してこずる問題もある。
第3問	日本の思想	24点	資料問題2つは、正確に読みとれば難しくはない。全般的には、キーワードさえ知っていれば解ける問題が多かった。
第4問	西洋近代思想	24点	問4、問7はやや難しい。問8の資料問題は、正確に読みとれば難しくはない。それ以外はキーワードで解ける問題である。
第5問	現代社会の諸問題	20点	問2でクローン技術、問3で改正臓器移植法など時事問題が問われた。問1で動物実験、問5でベンサムの動物愛護について問われたのは注目に値する。資料問題がなくなった。